

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：ポピンズナーサリースクール綱島	種別：認可保育所	
代表者氏名：田出 裕子	定員（利用人数）： 50名	
所在地：〒223-0052 横浜市港北区綱島東3-2-15		
TEL：045-859-9892	ホームページ： https://www.poppins.co.jp/educare/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ポピンズエデュケア		
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 10名	
専門職員	（専門職の名称） 名 看護師 1名	
	保育士 22名	
	栄養士 3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室5室、調理室、医務室・ 相談室	冷暖房、床暖房、空気清浄機、自 動昇降機

③理念・基本方針

ポピンズナーサリースクール 目標：人生で最も重要な時期の人間教育を目指します
寛容な人間、（異年齢のお友だちの触れ合いを通し、多様な価値観に触れ、人との関
係性を築いたり、協調する大切さを学ぶ）
聡明で愛情深い人間、（会話の中で、人格を尊重する姿勢と倫理的思考を育み「人の
思いやり」を学ぶ）
心旺盛な人間、（日々のプログラムのほか、四季折々の様々なプログラムを通して知
的好奇心を刺激し、お子様が自発的に取り組み、表現する力や考える力を伸ばす）
グローバル社会で活躍できる人間、（多文化教育をカリキュラムに取り入れ、視野の
広い人間を目指す）

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・エデュケア…ポピンズ独自の教育（エデュケーション）と保育（ケア）を融合さ
せた「エデュケア」でお子様一人ひとりの個性と能力を育てていく。
- ・ドキュメンテーション…お子様の成長に寄り添ったエデュケア実践を可視化し、活
動を振り返ったり、保護者の方と共有し、成長を喜び合う機会とする。
- ・SDGS…グローバルに羽ばたくお子様に向けて、日常の活動の中でSDGS教育を行
なう。
- ・食育…お子様の生きる力で重要な「食」自分たちで育てた野菜を収穫し実際に食べ
てみる。多文化教育で今月の国のおやつを食べてみる。など栄養士と保育士が協力し
ながら実践。
- ・IT活用…最新のITシステムで担任との連絡はWebでやりとりしたり、お子様の当日
の様子も保護者の方と共有。
- ・ポピンズプラス…荷物は最小限（着替えのみ）1で大丈夫。タオルやおむつのオプ

ションサービスあり。また昨年度より体操教室、ポピンズイングリッシュを導入し希望者だけレッスンを受講。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 7月 12日（契約日） ～ 2024年 2月 6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2019年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

子どもたちの学びを豊かにとらえたドキュメンテーションに力を入れている

子どもたちの成長と学びの過程を大切に記録しており、具体的には、SDGs（持続可能な開発目標）に関連したテーマとしてカブトムシの飼育を選択し、子どもたちの興味や関心に基づいた活動を丁寧にドキュメント化している。命の始まりと終わり、生命サイクルの理解など、子どもたちの学びを深めるとともに、その過程や気づきを保護者にも伝えている。担任だけでなく、主任やクラス以外の職員も、子どもたちの成長や活動に気づいたことをドキュメンテーションに加えることで、子どもたちの多面的な成長を捉え、家庭にも共有している。

園全体で子どもの発達状況や配慮への理解を深めている

合同保育時間を含むさまざまな機会を通じて、担任以外の職員も子どもたちと関わる時間を確保しており、それにより、一人ひとりの子どもの発達状況や必要な配慮について理解を深めている。職員がお互いに情報を共有することで、支援が必要な子どもに対しても適切な対応を可能としており、子ども一人ひとりに合った保育を提供する基盤を強化している。

地域社会との連携を深め、子どもたちの社会性を育むことに取り組んでいる

近隣の保育園や小学校、子育て関連施設との定期的な交流を通じて、年長児同士の相互理解と協力を促進している。小学校生活へのスムーズな移行支援にもつながっており、子どもたちの社会性を育むことができるよう援助している。ハロウィンや敬老の日などのイベントでは、デイサービスや子育て支援拠点と協力し、地域との絆が深まるように工夫をしている。子どもたちに多様な社会経験を提供するとともに、地域との関わりを強化できるよう取り組んでいる。

今後期待される点

保護者アンケートへの丁寧なフィードバックに期待したい

今回実施した保護者アンケートにおいては、全体的に大変高い満足度が示されており、ポピンズナーサリースクール綱島としての保育活動が、保護者に理解され支持されていることがうかがえる。満足度は高いながらも、具体的な改善などを望む声も数件は聞かれていることから、丁寧なフィードバックを行うことに期待したい。

施設長のビジョンを計画に落とし込み、園としての中長期計画を策定することに期待したい

中長期計画については本社が主導し策定しており、園としての策定は行っていない。しかしながら、施設長として、ビジョンを掲げており年初には職員へその思いを伝えている。このビジョンを具体化して計画に落とし込むこと、さらに職員への共有と保護者への周知を行うことにも期待したい。また、事業計画の推進にあたっては客観的な評価が不可欠であることから、体制を整えることも期待される。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

客観的な目で施設全般を確認して頂いたことによって、今後力を入れていくべき方向性が具体化された。

1点目は事業計画の策定にあたり、施設長としてのビジョンに基づいた、具体的な策定に向けた取り組みを行っていく。また園の課題も取り入れ、客観的な達成基準なども示して、保護者にも周知してもらえるよう説明していく。

2点目として、今まで対応の必要がなかった障害のある子ども、支援困難のケースや実習生の受け入れについても体制を整えていく。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり